



株式会社清水銀行

Information Meeting

平成30年3月期

平成30年6月15日（金）



SHIMIZU BANK

清水銀行の概要

清水銀行の概要

平成30年3月31日現在

創立	昭和3年7月1日
本店所在地	静岡県静岡市清水区富士見町2番1号
総資産	1兆4,992億円
預金残高	1兆3,506億円
貸出金残高	1兆970億円
店舗数	本支店・出張所79店舗 (静岡県内76店舗、静岡県外3店舗)
従業員数	942人
連結自己資本比率	10.30% (国内基準)
単体自己資本比率	10.06% (国内基準)
格付	A (日本格付研究所)



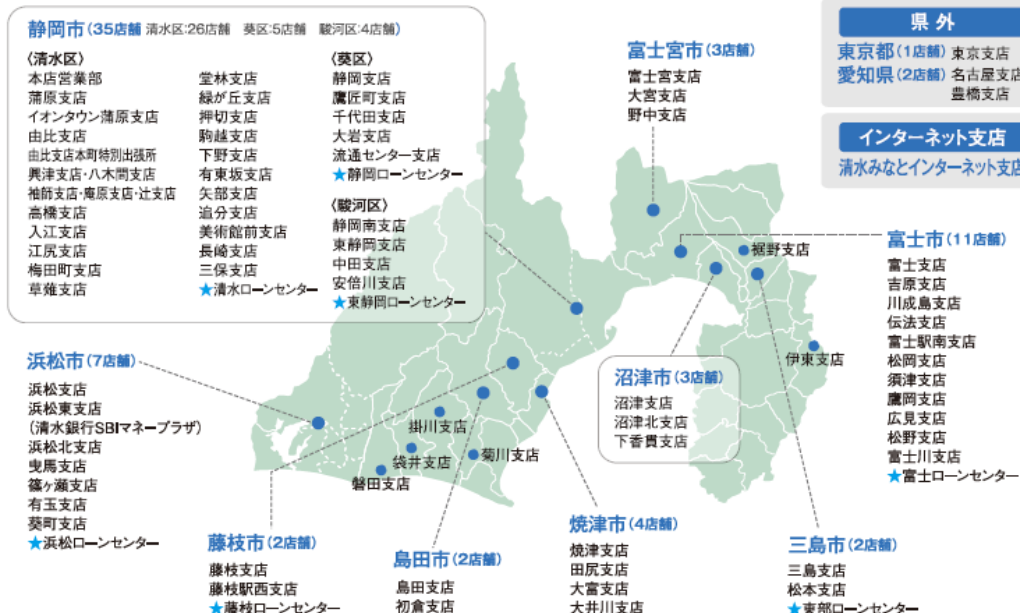
経営理念

1. 社会的公共性を重んじ健全経営をすすめる
2. お客様に親しまれ、喜ばれ役にたつ銀行をつくる
3. 人間関係を尊重し働きがいある職場をつくる

店舗ネットワーク

平成30年3月31日現在

本支店・出張所79店舗 ローンセンター7箇所



本店営業部



天神本部

THE SHIMIZU BANK, LTD.





I

静岡県のトピックス



THE SHIMIZU BANK,LTD.

静岡県の主要指標と日本一の特徴

基本データ

項目	計数	全国順位	基準年
人口	368万人	10位	平成28年
県内総生産	15兆4,425億円	10位	平成26年度
1人当りの県民所得	322万円	3位	平成26年度
製造品出荷額等	16兆4,215億円	4位	平成27年
事業所数	172,358事業所	10位	平成28年
海外進出企業数	620先	7位	平成27年
工場立地件数	95件	1位	平成29年
医薬品・医療機器生産額	8,250億円	1位	平成27年
プラモデルの出荷額	173億円	1位	平成27年
ホテル・旅館数	3,073施設	1位	平成28年度
観光交流客数	7,685万人	6位	平成27年

静岡県の日本一

東部地区の日本一

- 富士山（世界遺産、標高3,776m）
- 韮山反射炉（世界遺産）
- 柿田川（湧水量約100万 t / 日）
- あじ塩干品（生産量日本一）
- 医療機器（生産額シェア19%）
- 旅館（営業施設数シェア7%）
- タカアシガニ（漁獲量18,239kg）



柿田川

中部地区の日本一

- 桜えび（漁獲量シェア100%）
- 冷凍まぐろ（上場水揚量シェア86%）
- プラモデル（出荷額シェア95%）
- 茶（栽培面積シェア40%、収穫量シェア38%）
- 茶系飲料（出荷額シェア27%）
- 主食的調理食品（年間支出金額日本一）
- まぐろ及びかつお缶詰（輸出量日本一）
- 蓬莱橋（世界一長い木造歩道橋）



プラモデル

西部地区の日本一

- 普通温州みかん（収穫量シェア25%）
- ピアノ（出荷量シェア100%）
- ガーベラ（作付面積シェア31%）
- 二輪自動車・原動機付自転車（輸出量シェア30%）
- 温室メロン（収穫量シェア40%）
- 光電子増倍管（生産量シェア100%）
- ぎょうざ（年間支出金額日本一）



二輪自動車



静岡県のトピックス①

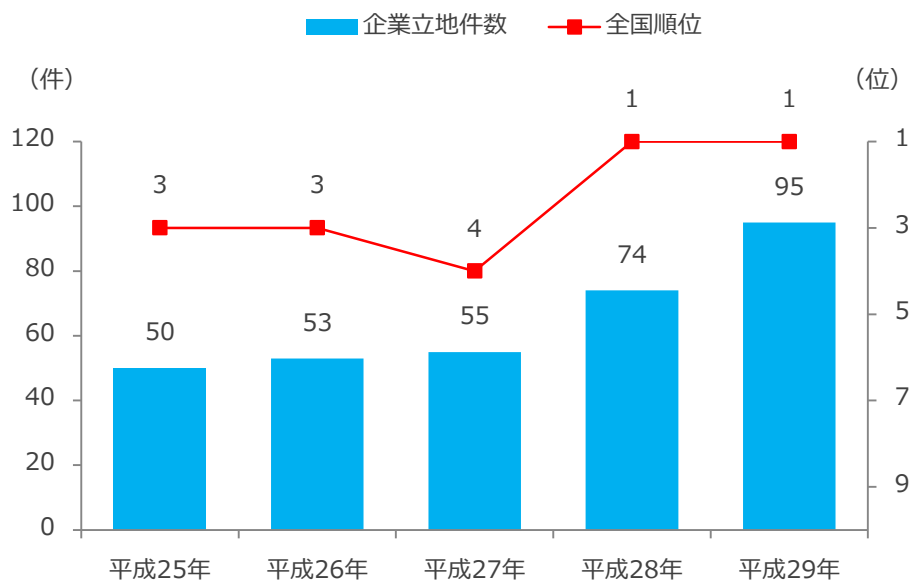
ふじのくに総合戦略

- 静岡県経済の成長・発展に向けて官民連携のもと4つの成長戦略を推進

戦略1	戦略2	戦略3	戦略4
企業誘致・定着の推進	事業用地の確保	地域企業の事業活動活発化	次世代産業の創出

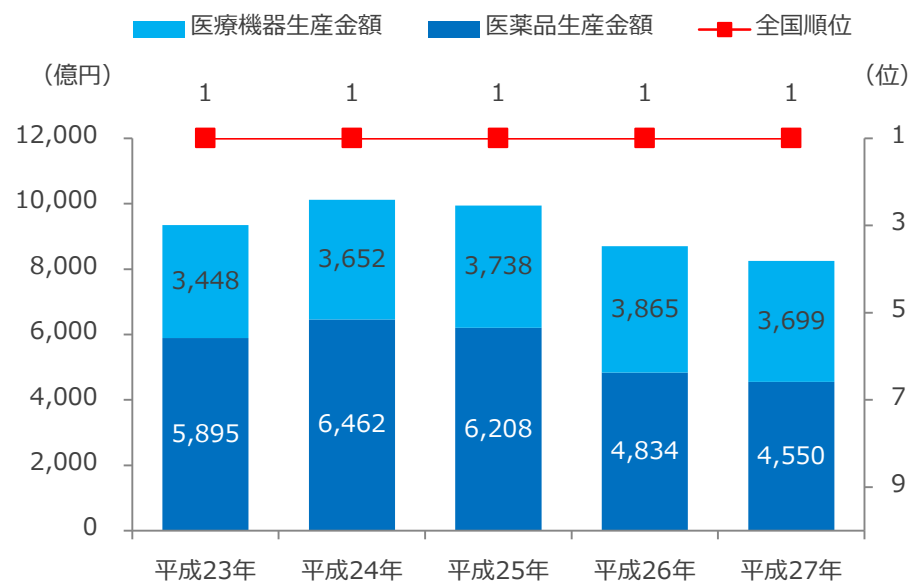
工場立地件数の推移

- 工場立地件数は95件と2年連続全国1位



医療機器・医薬品生産金額の推移

- 医療機器・医薬品生産額は8,250億円と6年連続で全国1位

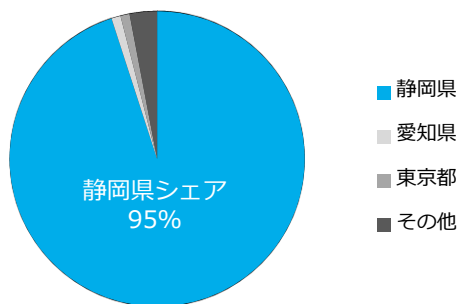


静岡県のトピックス②

プラモデル製造出荷額

- プラモデルの全国製造出荷額は173億円、静岡県の製造シェアは95%を占める
- 毎年5月に開催される「静岡ホビーショー」は7万人を集客、世界的な注目を集める

平成27年プラモデル製造出荷額シェア



静岡ホビーショー



静岡県の文化発信HP

SHIZUOKA & BASE

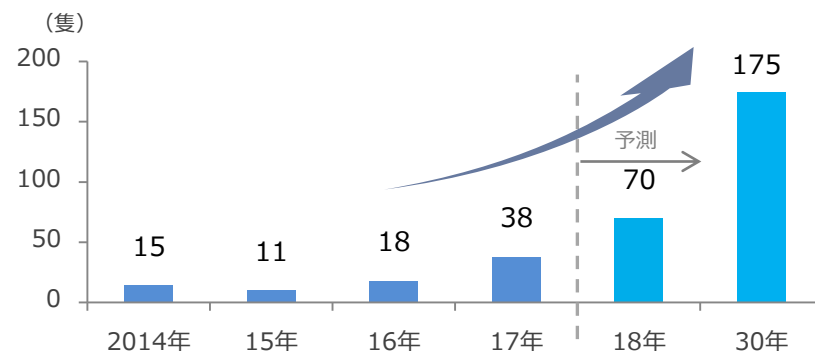
1/47 BASE PRESENTED BY SHIMIZU BANK

世界の航空模型 - 静岡 -

清水港への客船寄港隻数

- 清水港へのクルーズ船寄港隻数は過去最高を更新、2018年は70隻程度の見通し
- 静岡県の計画では2030年に175隻の寄港を目標に掲げている

清水港客船寄港隻数



客船「ゴールデンプリンセス」



静岡県のトピックス③

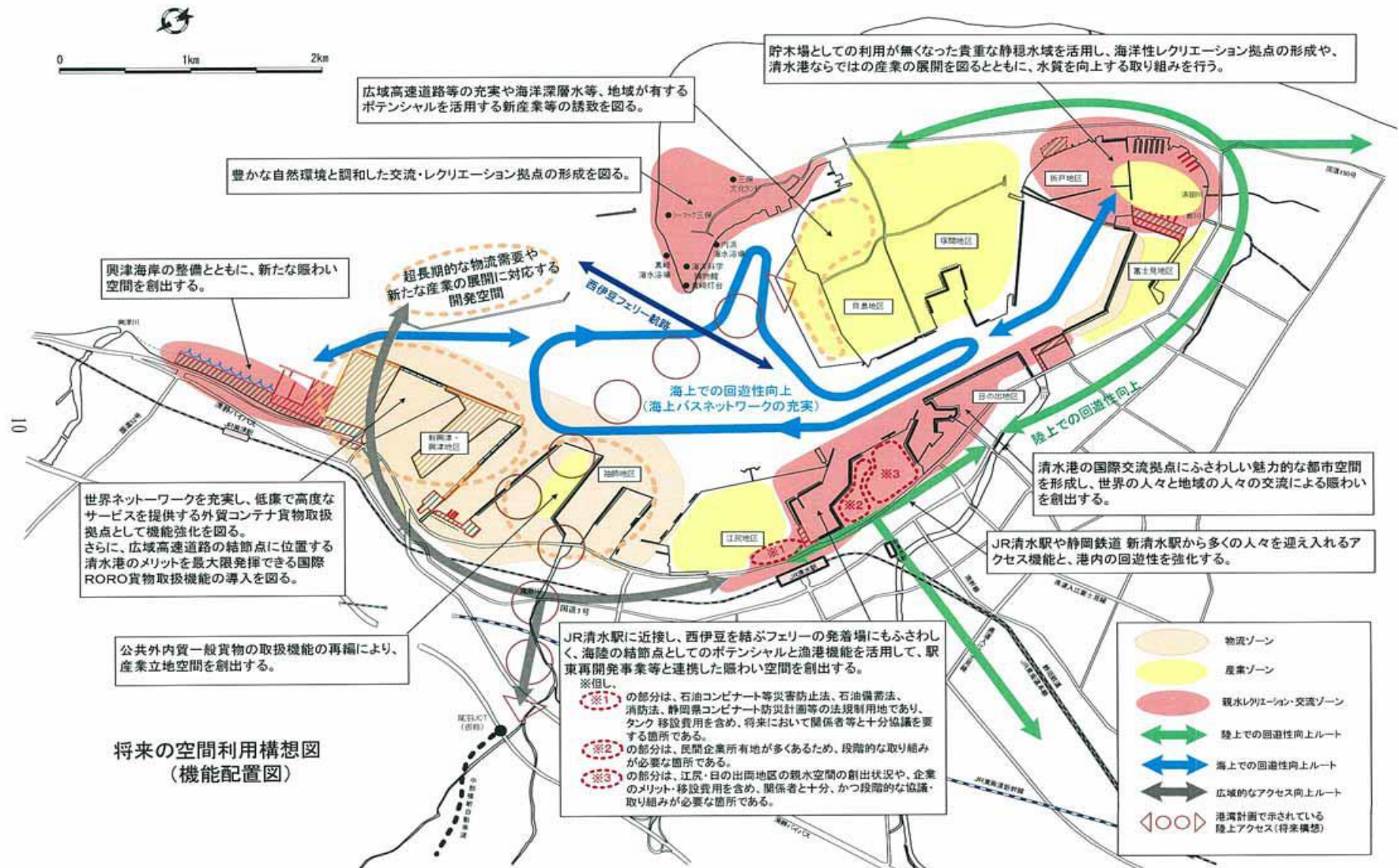
清水港の将来ビジョン（清水みなとまちづくり公民連携協議会）

- ①名 称：清水みなとまちづくり公民連携協議会
- ②設立年月：平成30年4月
- ③参加団体
公 共：静岡県、静岡市
民 間：当行、静岡鉄道、鈴与等6社
- ④活動内容：プロジェクトの事務局機能の一元化等



静岡県のトピックス③

清水港の将来ビジョン



Ⅱ

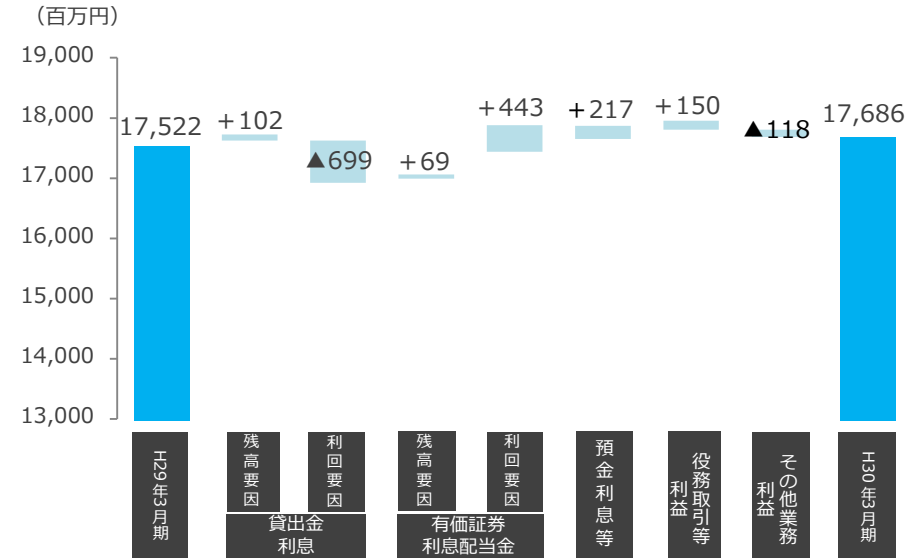
平成30年3月期決算概要

平成30年3月期 決算概要

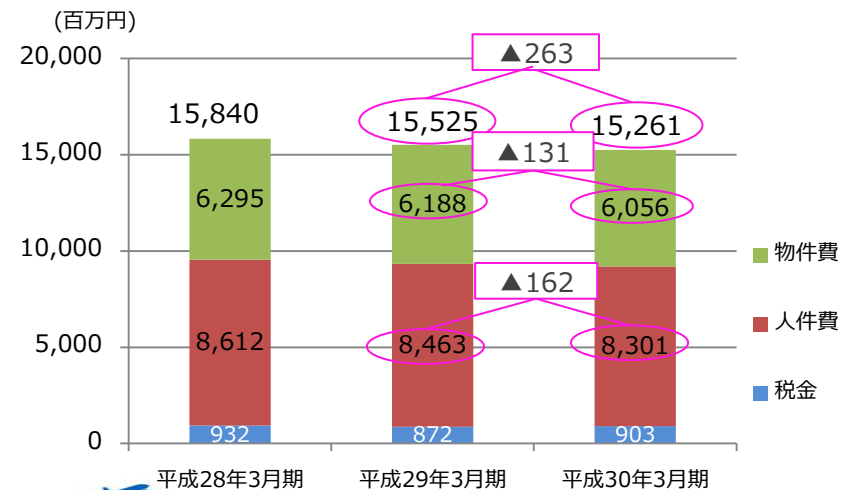
損益の推移

	平成29年3月期	平成30年3月期	前期比
経常収益	23,632	22,473	▲ 1,159
業務粗利益	17,921	18,036	▲ 115
（コア業務粗利益）	17,522	17,686	▲ 164
資金利益	15,659	15,791	▲ 132
役務取引等利益	2,466	2,616	▲ 150
その他業務利益	▲ 204	▲ 371	▲ 166
国債等債券損益	399	350	▲ 48
経費（除く臨時処理分）	15,525	15,261	▲ 263
一般貸倒引当金繰入額	▲ 66	▲ 323	▲ 257
コア業務純益	1,997	2,424	▲ 427
業務純益	2,462	3,098	▲ 635
臨時損益	1,009	295	▲ 713
不良債権処理額	344	738	▲ 393
株式等関係損益	1,274	946	▲ 328
経常利益	3,472	3,394	▲ 78
特別損益	94	▲ 50	▲ 145
当期純利益	2,697	2,573	▲ 124

コア業務粗利益の増減要因



経費の内訳

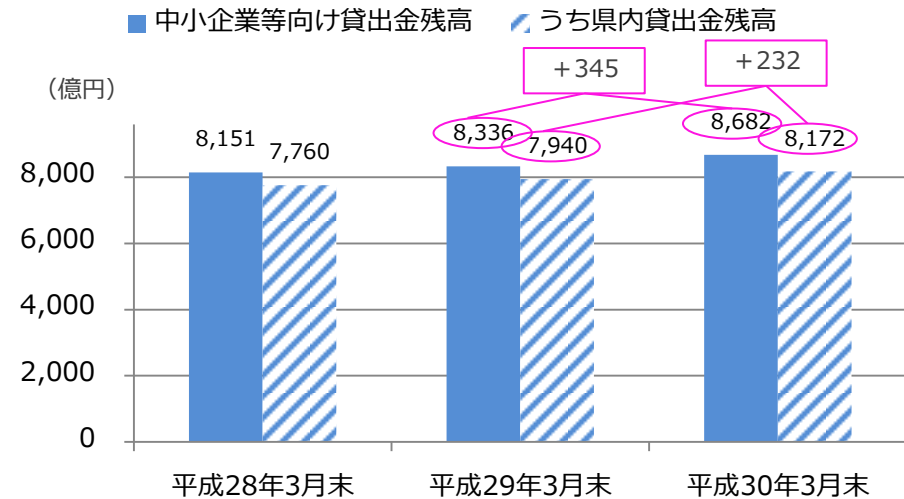


決算概要（貸出金）

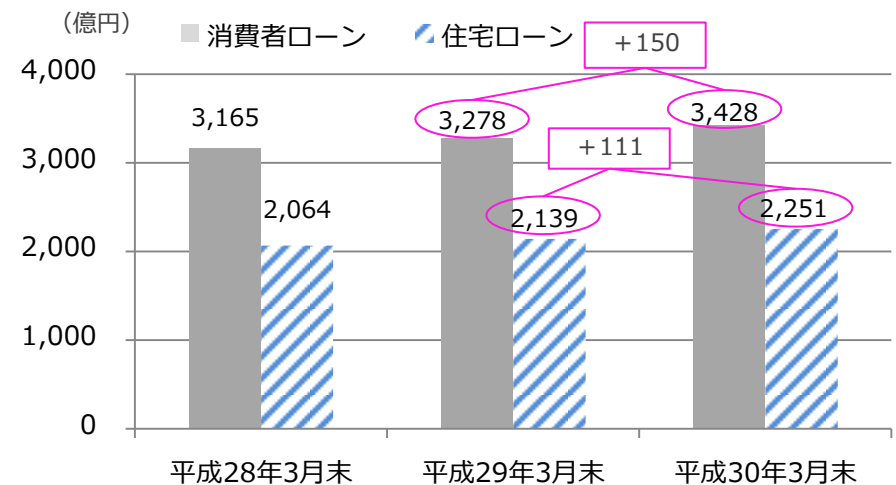
貸出金残高（未残）



中小企業等向け貸出金残高（未残）

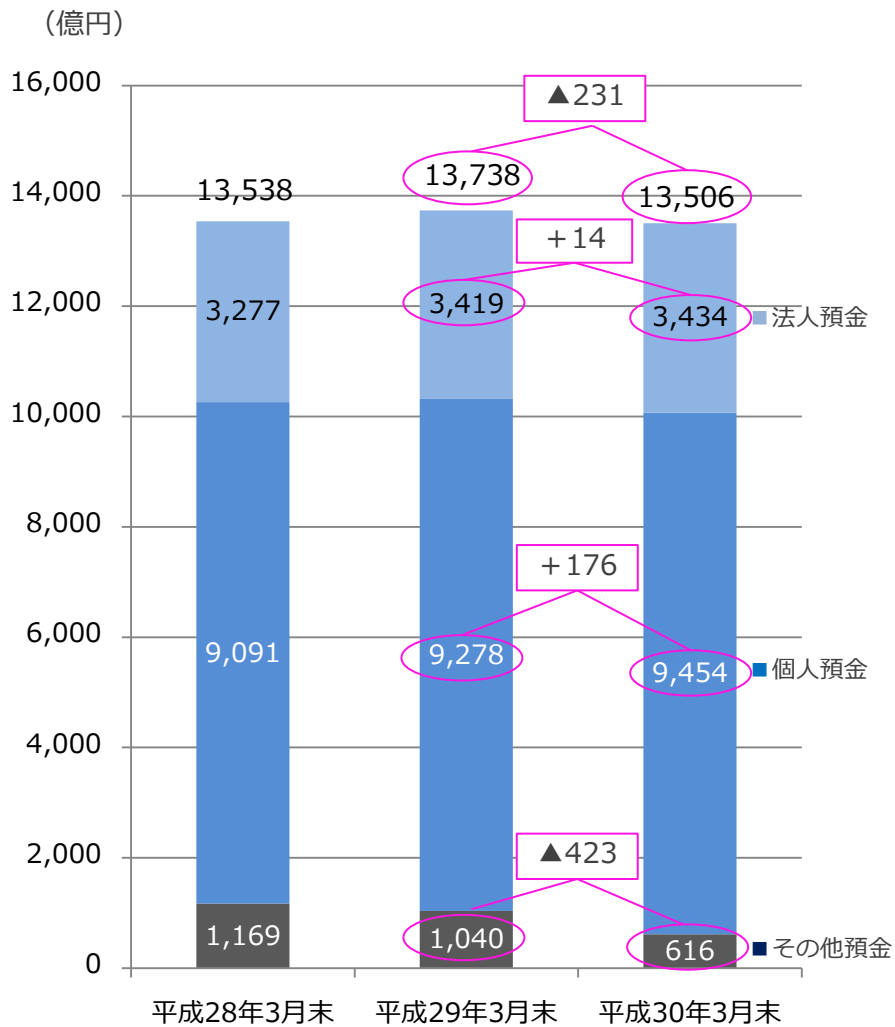


消費者ローン残高（未残）

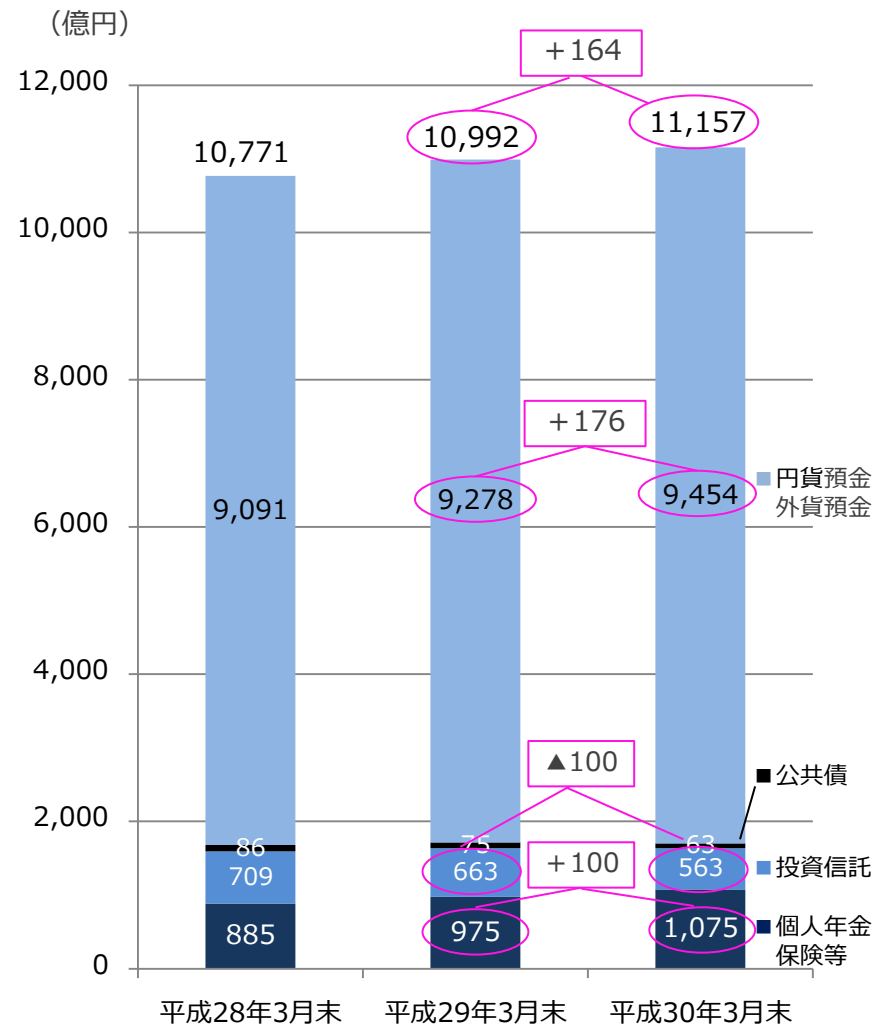


決算概要（預金等）

預金残高（末残）

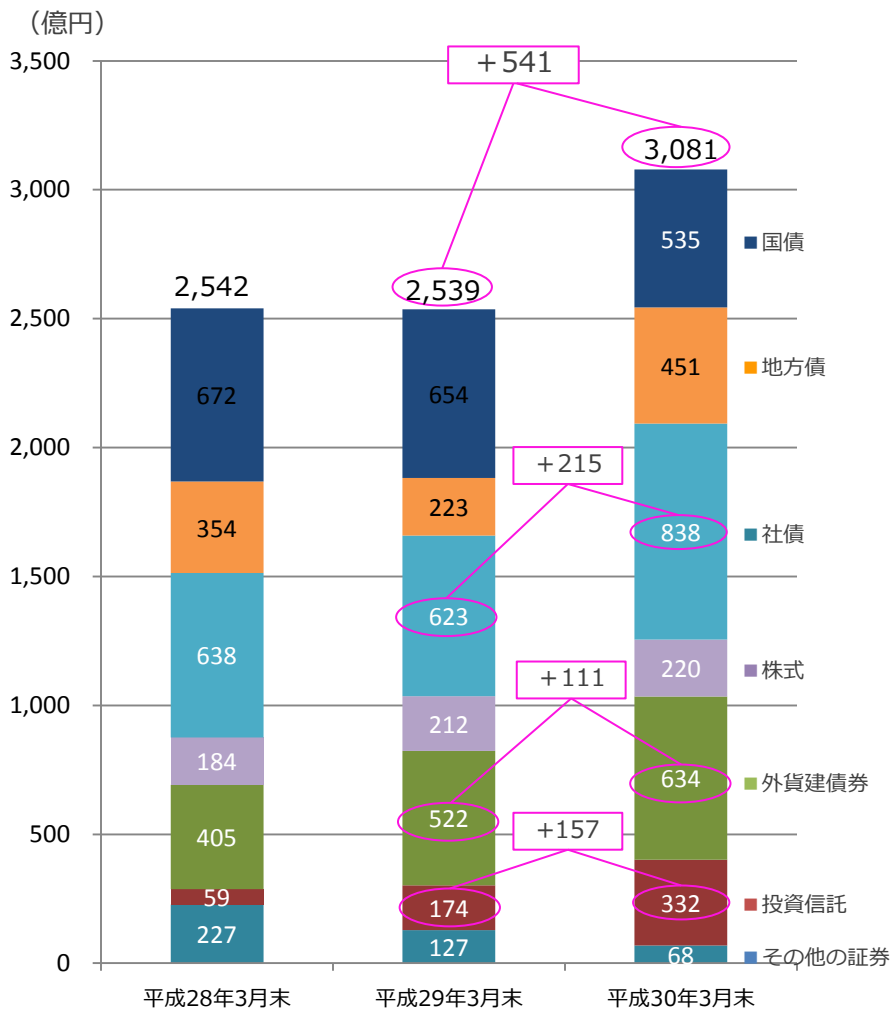


個人預かり資産残高

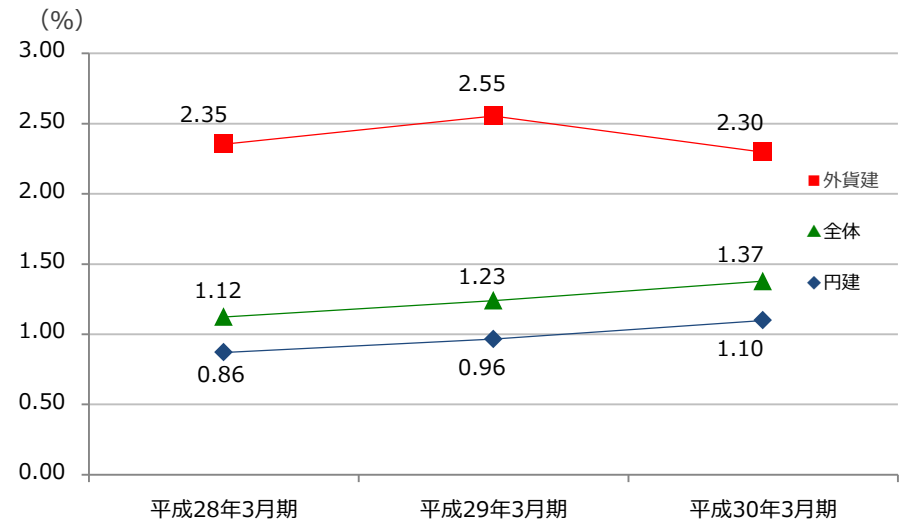


決算概要（有価証券）

有価証券残高（末残）



有価証券利回り



有価証券関係損益・デュレーション

(億円)

	平成28年3月末	平成29年3月末	平成30年3月末	前年末比
有価証券評価損益	72	46	44	▲ 1
国債等債券損益	18	3	3	▲ 0
うち国債等債券売却益 (+)	24	18	10	▲ 7
うち国債等債券売却損 (△)	5	14	7	▲ 6
株式等損益	8	12	9	▲ 3
うち株式等売却益 (+)	9	14	10	▲ 4
うち株式等売却損 (△)	0	0	0	▲ 0
デュレーション (円建)	4.70年	5.53年	5.67年	0.14年
デュレーション (外貨建)	3.10年	4.26年	7.80年	3.54年

決算概要（与信関連／自己資本比率）

与信関係費用

(百万円)

	平成28年 3月期	平成29年 3月期	平成30年 3月期	前期比
一般貸倒引当金繰入額	▲ 250	▲ 66	▲ 323	▲ 257
個別貸倒引当金繰入額	1,042	287	634	347
その他不良債権処理額	316	57	103	45
与信関係費用	1,108	278	414	136

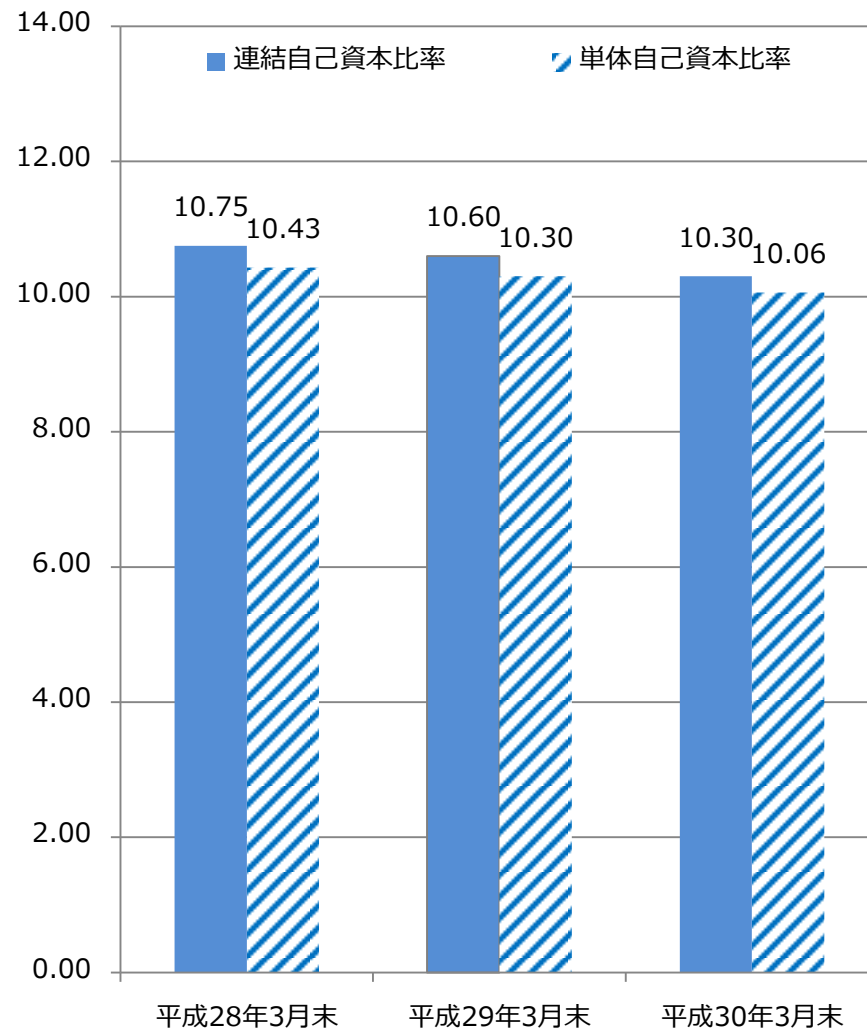
金融再生法開示債権

(億円、%)

	平成28年 3月末	平成29年 3月末	平成30年 3月末	前年末比
破産更生債権及び口れらに準ずる債権	80	62	65	2
危険債権	154	133	113	▲ 20
要管理債権	32	29	27	▲ 1
小 計 ①	266	225	205	▲ 19
正常債権	10,474	10,549	10,852	302
債権合計 ②	10,740	10,774	11,057	283
開示債権の債権合計に 占める比率 ①／②	2.48	2.09	1.86	▲ 0.23

自己資本比率

(%)



決算概要（配当・業績予想）

1株当たり年間配当

(円)

	平成28年 3月期	平成29年 3月期	平成30年 3月期
1株当り 年間配当	60	60	60

配当総額・配当性向

(億円)

	平成28年 3月期	平成29年 3月期	平成30年 3月期
親会社株主に 帰属する当期純利益	32	29	23
配当総額	5.7	5.7	5.7
配当性向 (連結)	17.3%	19.2%	24.5%

連結業績予想

(億円)

	平成30年 3月期 実績	平成31年 3月期 予想	通期 増減率
経常収益	276	282	2.0%
経常利益	33	35	4.6%
親会社株主に 帰属する当期純利益	23	27	15.8%

単体業績予想

(億円)

	平成30年 3月期 実績	平成31年 3月期 予想	通期 増減率
経常収益	224	226	0.6%
経常利益	33	34	0.2%
当期純利益	25	26	1.0%



第26次中期経営計画の進捗状況 および今後の取り組み施策



第26次中期経営計画の概要

目指す姿

存在意義の発揮

名称

ADVANCE AS ONE

～地域・お客さまとともに、持続的成長を実現するために～

計画期間

平成28年4月1日～平成32年3月31日（4年間）

基本方針

金融仲介機能の向上

生産性の向上

経営基盤の確立

人財活力の向上

計数目標

	平成30年3月期実績		平成32年3月期目標 〔計画最終年度〕
コア業務純益	24億円		40億円以上
コアOHR	86.3%		70%台
中小企業等向け貸出金残高	8,682億円		8,800億円以上
うち事業性貸出金	5,253億円		5,400億円以上
うち消費者ローン	3,428億円		3,400億円以上
個人預金残高	9,454億円		1兆円以上



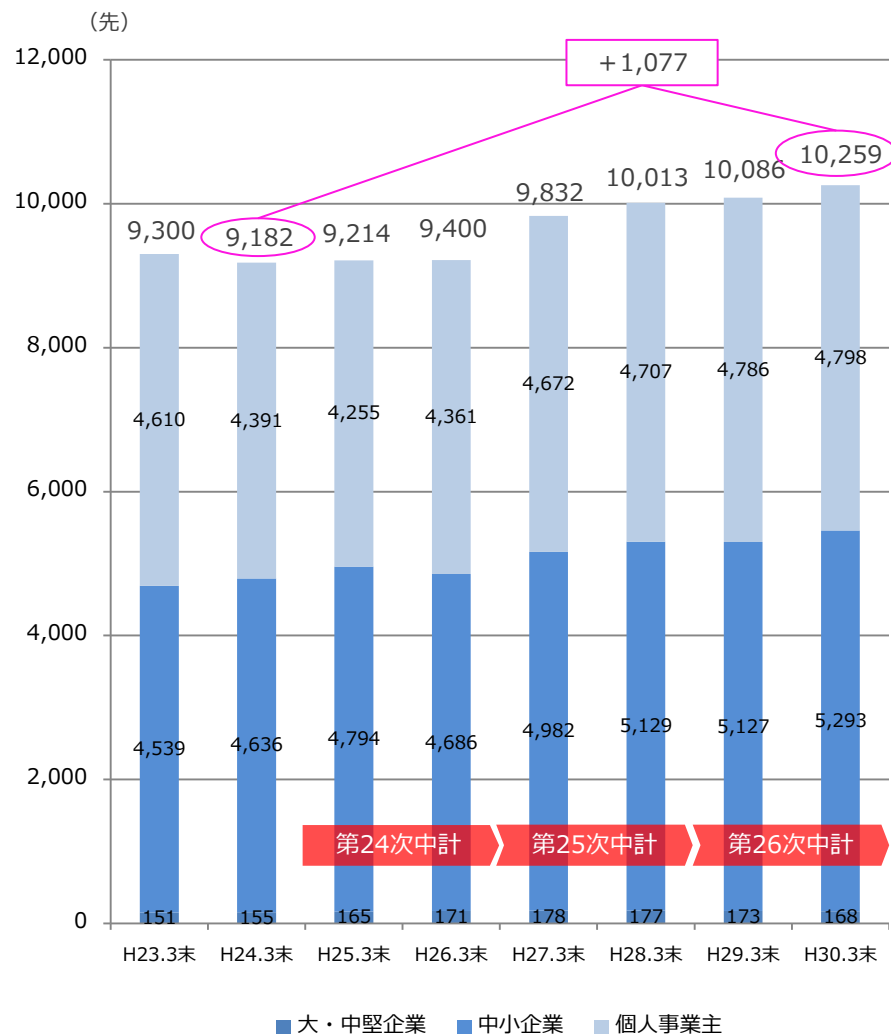
規模別貸出金・事業性貸出先数の推移

規模別貸出金の推移（平残）

	平成28年3月	平成29年3月	平成30年3月	平成28年3月比	平成29年3月比
貸出金(円貨約定)	10,347	10,548	10,635	288	87
中小企業等	7,851	8,061	8,269	418	208
事業性	4,755	4,849	4,933	178	84
中小企業	4,248	4,319	4,417	169	98
県内	3,899	3,967	4,024	125	57
県外	349	352	393	44	41
個人	439	467	488	49	21
地方公社	66	62	27	▲ 39	▲ 35
大企業等	2,496	2,486	2,367	▲ 129	▲ 119
大・中堅企業	1,726	1,677	1,597	▲ 129	▲ 80
地公体	769	808	769	0	▲ 39

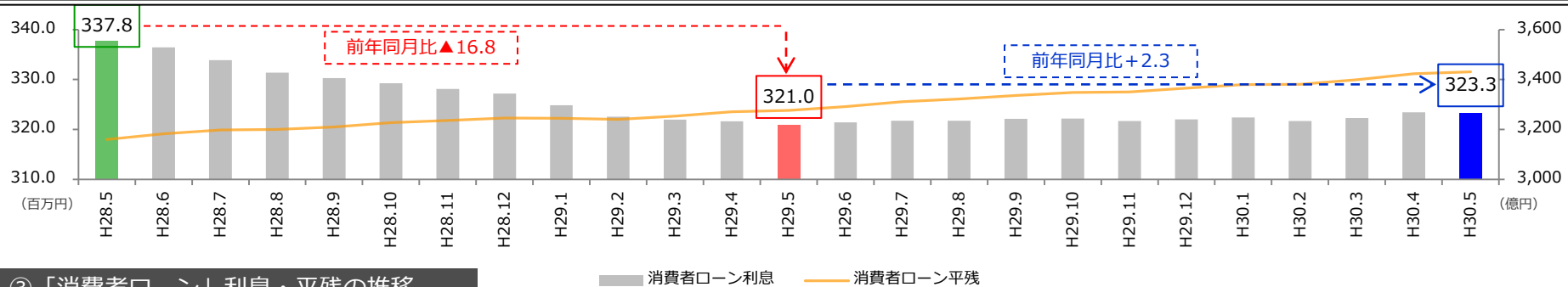
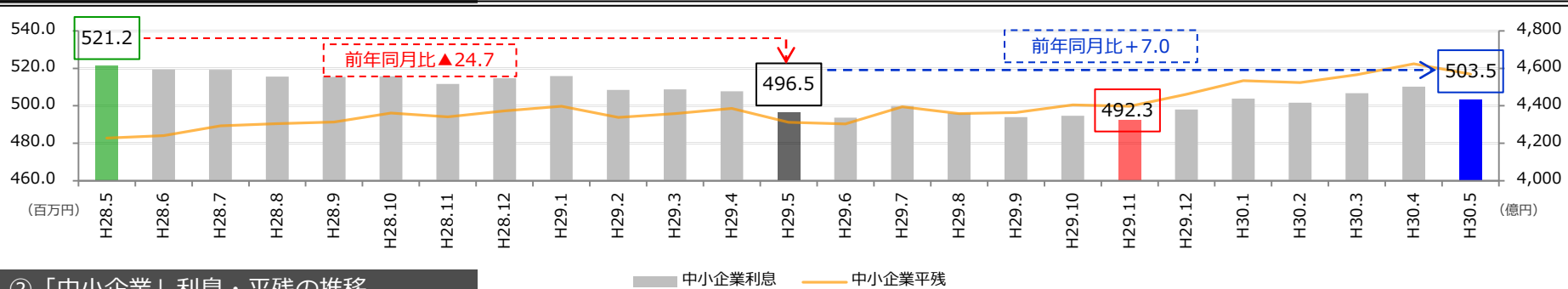
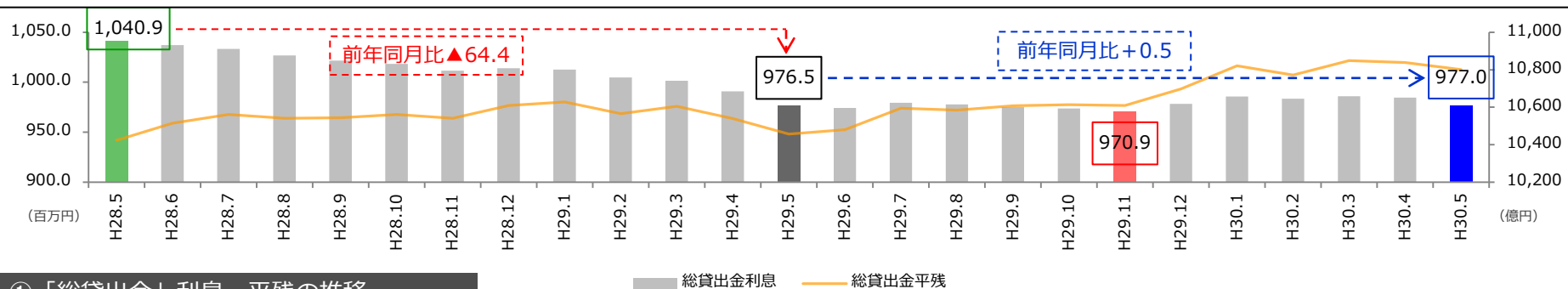
※ 破綻懸念先以下かつ延滞先を除く

事業性貸出先数の推移



貸出金利息・平残の推移（月次）

● 月次ベースの総貸出金利息は平成29年11月をボトムに底入れ、平成30年5月より前年同月比でプラスに転換



※利息額には延滞利息等を含まない ※利息額は各月30営業日換算 ※単位：利息 百万円、平残 億円

法人営業強化（ソリューションの強化）

資金供給手段の多様化

■ しみず地方創生ローン

(百万円)

■ しみずビジネスローン

(百万円)

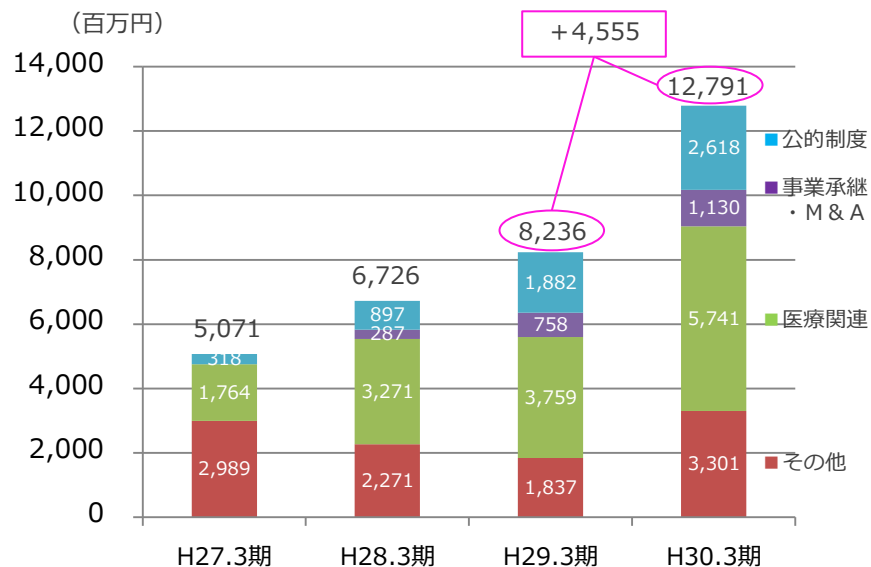
■ 地方創生私募債

(百万円)

	平成28年 3月末	平成29年 3月末	平成30年 3月末		平成28年 9月末	平成29年 3月末	平成30年 3月末		平成29年 3月期	平成30年 3月期
未残	1,978	3,418	4,434	未残	556	1,480	1,725	引受額	450	4,340
平均レート	1.88%	1.75%	1.77%	平均レート	1.28%	1.35%	1.38%	引受件数	6件	54件
平成27年11月取扱開始				平成28年9月取扱開始				平成28年11月取扱開始		

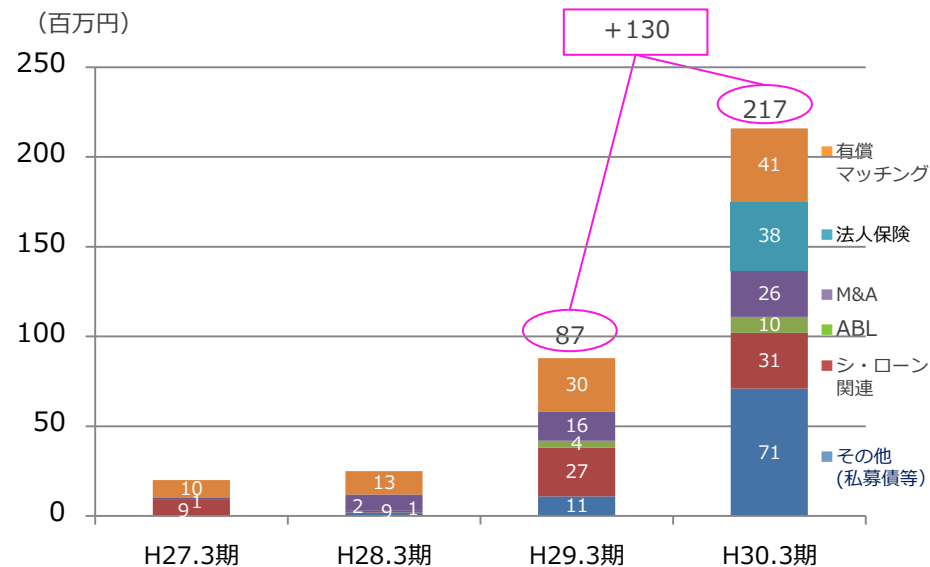
ソリューション融資案件の推移（実行額）

(百万円)



法人役務収益の推移

(百万円)



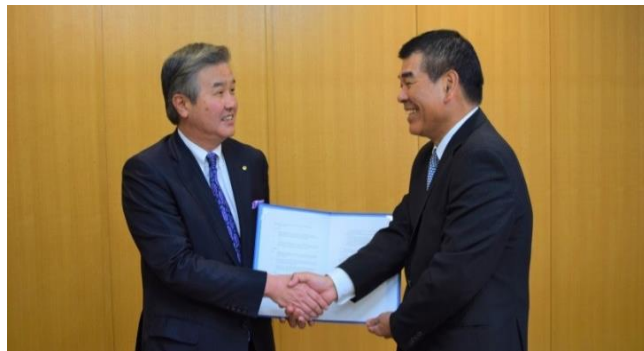
法人営業強化（海外展開支援の強化）

当行初の海外拠点

平成29年7月
バンコク駐在員事務所
OPEN！
Bangkok Representative Office

バンコック銀行との業務提携

- 平成30年2月バンコック銀行と業務提携を実施



海外展開支援ネットワーク



日本国内の外部連携先



地銀5行による広域連携

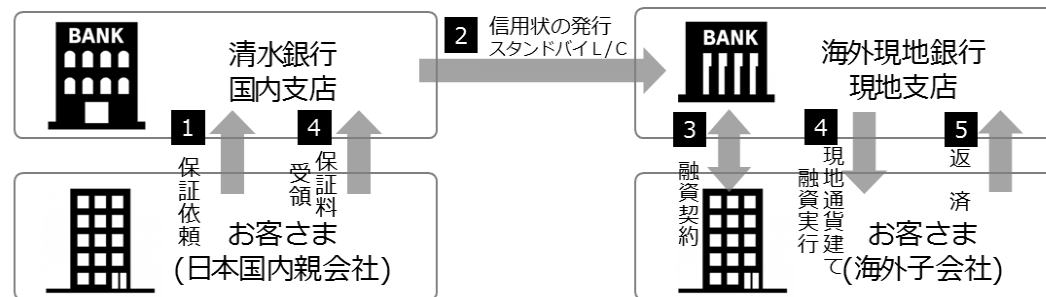


アグアスカリエンテス州 (メキシコ)	ハリスコ州 (メキシコ)
グアナファト州 (メキシコ)	ヌエボ・レオン州 (メキシコ)
現地金融機関：パナメックス（メキシコ）	

- スタンドバイL/Cの取扱開始により、現地通貨による資金供給が可能に

日本

海外

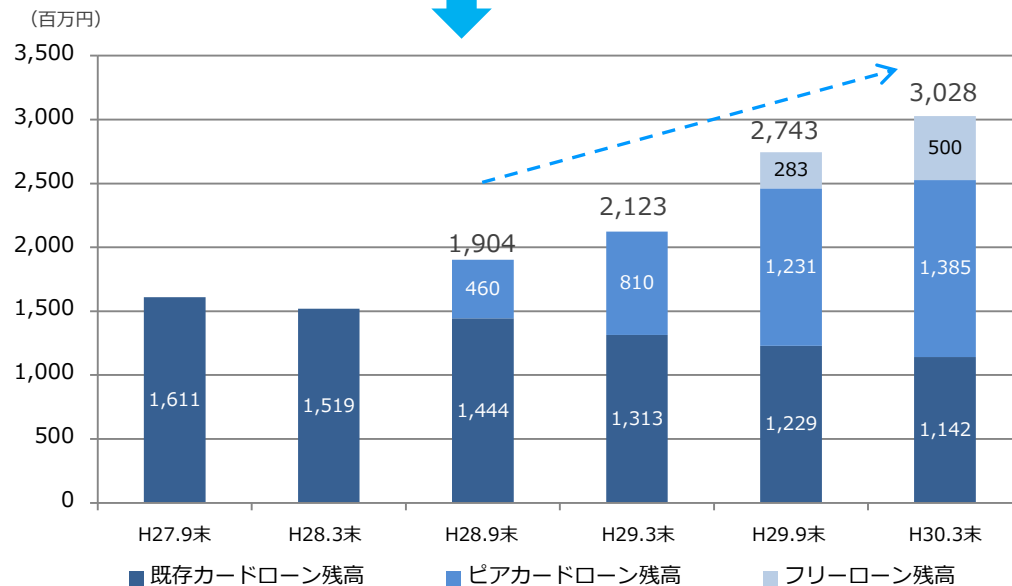


個人営業強化（商品の拡充）

消費者ローン残高（末残）

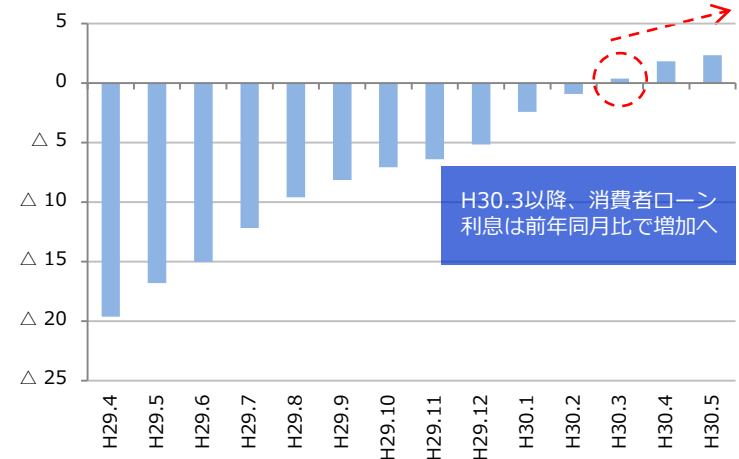
（百万円）

	H28.3末	H29.3末	H30.3末	H28.3末比	H29.3末比
消費者ローン	316,585	327,862	342,886	26,301	15,024
住宅ローン	206,492	213,944	225,124	18,632	11,180
アパートローン	106,701	109,555	112,086	5,385	2,531
カード・フリーローン	1,519	2,123	3,028	1,509	905
その他	1,873	2,241	2,648	775	407



消費者ローン利息前年比増減（月次）

（百万円）



消費者ローン新商品実績

（百万円）

平成30年3月末 実績	ピアカード ローン	フリーローン	全国保証 住宅ローン
末残	1,385	500	4,381
平均レート	6.89%	8.99%	0.88%
取扱開始年月	平成28年4月	平成29年4月	平成29年4月

● 新商品が収益増加・残高増加に寄与

個人営業強化（商品・サービスの拡充）

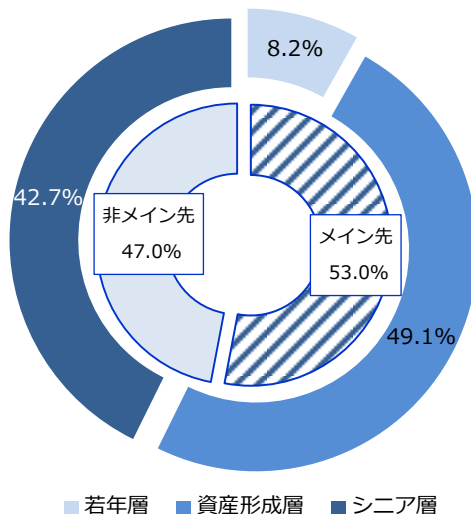
SHIMIZU With Card

H28.10
リリース



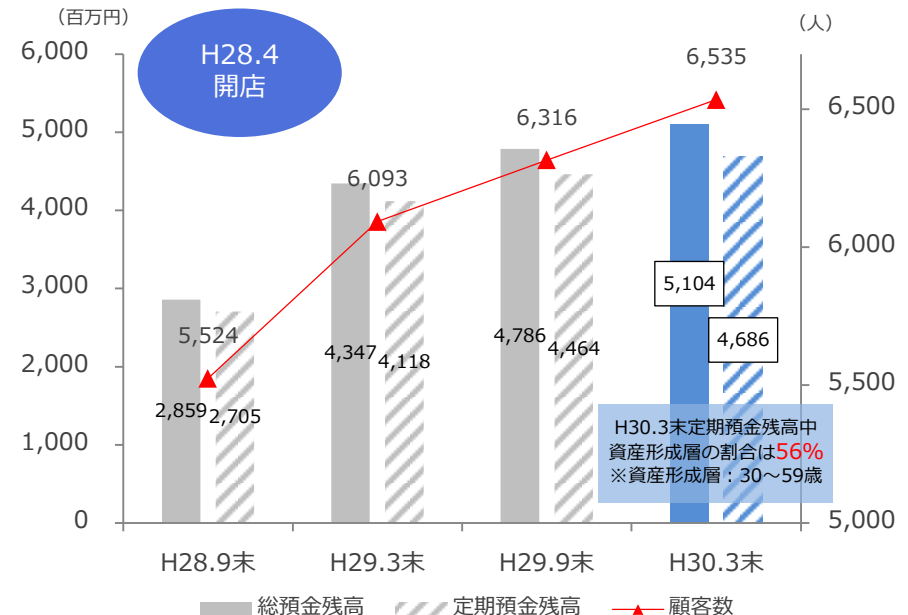
H30.5末迄累計発行枚数
40,808枚

カードホルダーの属性



※メイン先の定義：給振、年金、住宅ローン、その他ローンのいずれか取引がある
若年層：29歳以下、資産形成層：30~59歳、シニア層60歳以上

インターネット支店預金残高・顧客数



SBI証券との連携

清水銀行SBIマネープラザ



H29.10
開設

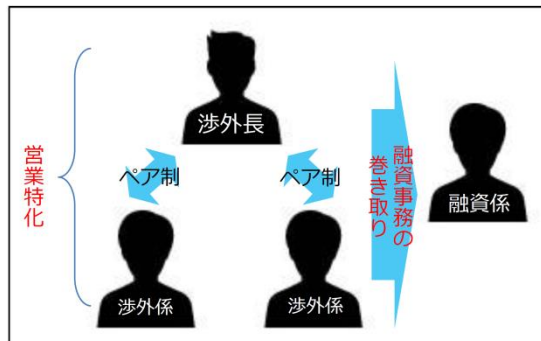
H30.5末顧客数
205顧客

生産性向上プロジェクト

生産性向上プロジェクト3つの重点施策

	重点施策	取り組み内容
I	新営業体制の構築	渉外係・融資係の業務明確化 渉外係におけるペア制の導入（平成29年10月～）
II	業務プロセス改革	営業店業務の本部集約化 R P A実用化による本部業務量の削減（平成30年4月～）
III	ローコストオペレーション	業務サポートセンターの設置（関連会社による本体業務の集約／平成30年4月～） 静岡県信連との事務共同化（平成30年3月～）

I.新営業体制



新営業体制導入による 渉外係の変化	新営業体制 導入前	新営業体制 導入後
1日当たりの訪問件数	5.1件	8.1件
1人当たり平均営業時間	3時間44分	6時間

II.業務プロセス改革

	取り組み内容
平成29年6月	営業店業務仕訳開始 3店舗に本部専担者が常駐
平成29年7月	本部機構改革 本部11部署を8部署へ集約
"	R P Aトライアル開始
平成29年10月	営業店業務の一部集中化 融資業務の段階的に本部集中化
平成30年4月	清水B S (株)に業務サポートS設置 R P A実用化

III.ローコストオペレーション

清水銀行本部 事務部	
①融資事務管理室	→ 廃止
清水ビジネスサービス 本社	
②資金管理・メール業務	→ 外部委託
③業務サポートセンター (本体の融資業務)	← 新設
④東部営業所	→ 一部業務廃止
⑤西部営業所	→ 廃止
中部営業所	←
事務センター	⑥静岡県信連業務受託 (手形・小切手交換業務)

店舗展開（ブランチインブランチ）

ブランチインブランチによる店舗展開



X支店
(フルバンキング店)



Y支店
(個人店)



Z支店
(個人店)

BinBによる
新設移転



統合店：X支店
被統合店：Y支店・Z支店
(フルバンキング店)

BinBのメリット

- 顧客負担と預貸金流出の最小化
- 営業人員の再配置
- 物件費の削減

BinB 実績・予定

- H27.11 興津支店・八木間支店
- H30. 3 袖師支店・庵原支店・辻支店
- H30. 9 梅田町支店・緑が丘支店・矢部支店（予定）

H27.11
興津支店
八木間支店
新設移転



H30.3
袖師支店
庵原支店
辻支店
新設移転



H30.9
梅田町支店
緑が丘支店
矢部支店
新設移転予定



CSR活動

植林活動（静岡みらいの森サポーター）



活動場所：三保松原
活動期間：10年間
植林数：1,780本

県内2大学での講義



県内2大学に
講師派遣
(各15講義)

- 静岡県立大学：2005年開講
- 静岡大学：2017年開講

清水エスパルスとのオフィシャルクラブスポンサー契約



静岡交響楽団への協賛



創立90周年記念事業

90周年記念事業の一部概要

ロゴデザイン



事業内容	目的
所有林の整備	当行所有林の整備を通じた環境保全への貢献
清水港へのテント寄贈	オリジナルデザインのテント寄贈を通じた地域活性化への貢献
イメージCMの作成	プロモーションを通じた認知度の向上

所有林の整備事業



H28.6所有林伐採式



由比支店

H29.3店舗内装への活用



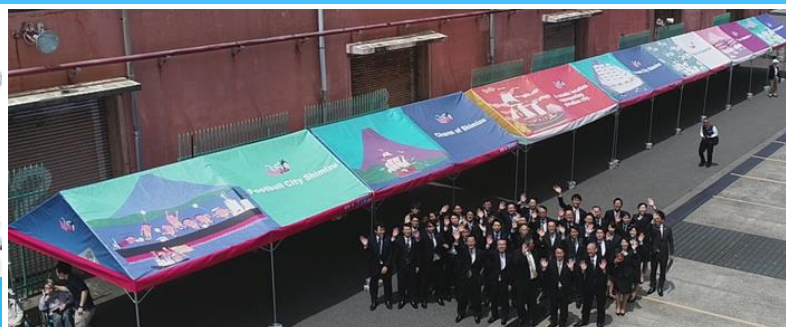
H30.2外部機関の森林認証取得

- 今後10年をかけ更なる整備を実施
- 小河内山林の整備計画策定済み

清水港へのオリジナルテント寄贈



H30.4テント寄贈式



イメージCM作成

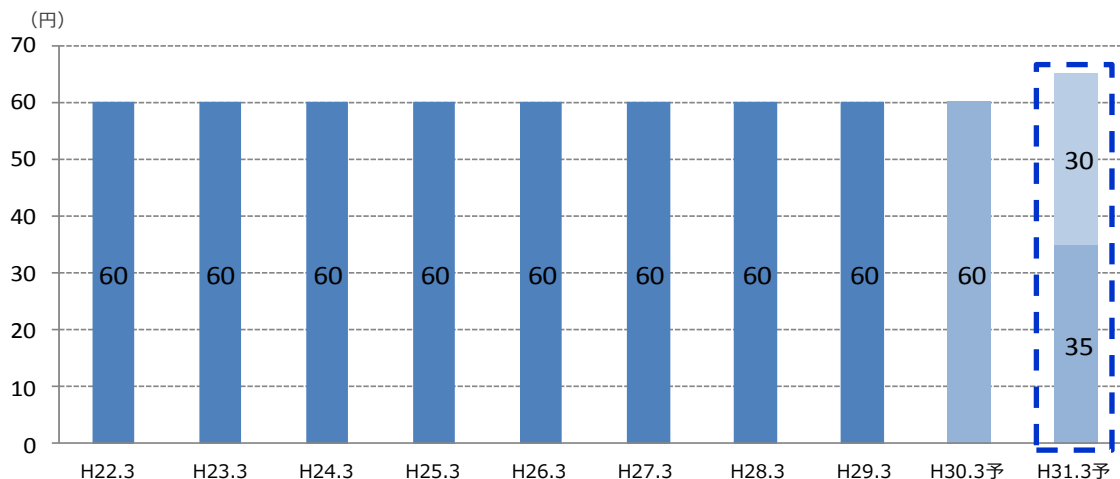


公募増資・記念配当

公募増資の概要

公募による発行株式数	1,800,000株
オーバーアロットメント	270,000株
による売出株式数	
ディスカウント率	3.01%
主幹事証券	大和証券株式会社
日程	決議日：平成30年5月25日（金） 条件決定日：平成30年6月4日（月） 募集期間：平成30年6月5日（火）～平成30年6月6日（水） 受渡期日：平成30年6月12日（火）

90周年記念配当／1株当たりの配当金推移



- ・当行は平成30年7月1日に創立90周年
- ・平成31年3月期中間期において記念配当を実施する方針を公表

・平成30年3月期の1株当たり期末配当金は、平成30年5月11日付「平成30年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて、1株当たり30円とする旨を発表したものであり、平成30年6月22日開催予定の当行第143期定時株主総会での承認を条件としております。

・平成31年3月期の1株当たり中間配当金は、平成30年5月11日付「創立90周年記念配当（平成31年3月期中間配当）に関するお知らせ」にて、1株当たり35円とする方針を発表したものであり、今後開催される取締役会での決議を条件としております。平成31年3月期の1株当たり期末配当金は平成31年6月開催予定の第144期定時株主総会での承認を条件としております。

本資料には、計画、見通し等の将来に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものであります。将来の業績は、経営環境の変化等により、異なる可能性があることにご留意ください。

＜記載内容に関するお問い合わせ＞
株式会社清水銀行 経営企画部
電話：054-353-7895

